

企業の課題解決研究 —滋賀・京都再生企業支援事業—

今年度、経済学部学生は、長浜市の「浜ちりめん」の企業 3 社との共同研究を行いました。浜ちりめんは、長浜市で生産される高級絹織物で、滋賀県を代表する伝統産業の一つです。今回、浜ちりめんを代表する 3 社(有限会社吉正織物工場、南久ちりめん株式会社、株式会社タケツネ)を共同研究のパートナーとして、経済学部の 3 つのゼミが、浜ちりめんや輪奈ピロードの需要開拓や認知拡大に向けた調査研究に取り組みました。

1. 共同研究内容

- (1) 研究テーマ 浜ちりめんの認知拡大と需要創出に向けた調査研究
- (2) 研究内容 経済学部学生による伝統産業の存続に向けた調査・提案
- (3) 研究期間 令和 3 年 6 月～令和 4 年 1 月
- (4) 主 担 当 産学公連携推進機構 客員教授 近兼 敏
指 導 教 員 経済学部 教授 岡本 哲弥、准教授 竹中 厚雄、教授 陳 韻如

2. 各グループの参加学生と研究テーマ

- (1) 岡本ゼミ (金川 蒼弥、田中 美優、三次 杏奈、長岡 千穂子)
テーマ「布製品における支払許容額と商品属性の関係 ～浜ちりめんのアンケート調査から～」
- (2) 竹中ゼミ (石川 祐乃介、石原 颯人、中尾 真緒、麻生 和、市下 慎也、上杉 達哉)
テーマ「wanna be road ～知る 触れる 体験する～」
- (3) 陳ゼミ (中西 健斗、鬼松 新、神澤 草介、松並 愛花、田尾 鈴蘭、田嶋 優樹、林 美紅)
テーマ「浜縮緬産業の存続 “新たな需要の創出による危機からの脱却”」

3. 研究発表会

- (1) 日時 令和 4 年 1 月 25 日 (火) 13:00～15:00
- (2) 場所 滋賀大学彦根キャンパスほか (オンライン開催)
- (3) 内容

当初は長浜市で対面形式の発表会を実施する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染再拡大を受けて、彦根キャンパスと先の 3 社をオンライン接続し、近畿経済産業局、滋賀県、長浜市、滋賀県中小企業団体中央会、長浜商工会議所など関係機関にも配信しました。学生からは、浜ちりめんの支払許容額の分析、新規商品の企画、博物館を利用した認知度向上策やバーチャル工場見学などの報告・提案がなされ、浜ちりめんの認知拡大に向けた様々な課題について意見交換が行われました。

(文責：経済学部 准教授 竹中 厚雄)